

2014年度 雪氷対策における更なる改善

2015年1月28日
中日本高速道路株式会社
定例記者会見 資料5

2014年度雪氷期(初冬期)における通行止め事象において課題を踏まえた更なる改善を実施していく

【2014年度雪氷期の取り組み】

- 早いタイミングでの雪に関する情報提供に努めてまいります。
- 雪による通行止め回避および通行止め時の早期解除を図る取り組みの強化、高速道路と一般道路が一体となった通行確保に向けた関係機関との更なる連携強化などの取り組みを実施します。

●大雪前の情報提供の充実の取り組み

今シーズンより、気象予測を参考に降雪3日前から「大雪時の出控え、冬用タイヤの装着」について、HPや広域情報板等を活用し大雪事前広報・情報提供を実施した。

⇒ 雪氷作業や通行止めについての問合せがあったが、情報の有用性・効果的な情報提供ツールについてWeb調査で確認

初冬期における通行止め事象における課題

- 大雪でも高速道路の通行を極力確保するための取り組み
 - ・立ち往生車両に普通タイヤ車が数台含まれていた。
 - チェーンチェック時に、チェック不足及び装着確認不足があった。
 - ・立ち往生車両の早期発見、早期対応に課題が残った。
 - ・気温低下時の凍結や薄い圧雪の除去に時間を要した。
- 国・県・警察等関係機関との連携に向けた取り組み
 - ・他機関、他道路会社との情報共有・連携に課題が残った。

更なる対策強化

- ⇒普通タイヤ車が紛れ込まないように、警察の協力を得て、初冬期のチェーンチェックにおける冬用タイヤやチェーン装着の確認を更に徹底する。
- ⇒現場巡回の強化や車両位置情報システムによる現場写真などの活用による現場把握の更なる強化を図る。
- ⇒凍結および薄い圧雪の除去方法の改善や、除去に必要な資機材の事前配備など更なる強化を図る。
- ⇒気象急変時や交通障害発生時における他機関・他会社との更なる情報共有・連携強化を図る。

【参考】2014年度雪氷期(初冬期)における通行止め状況



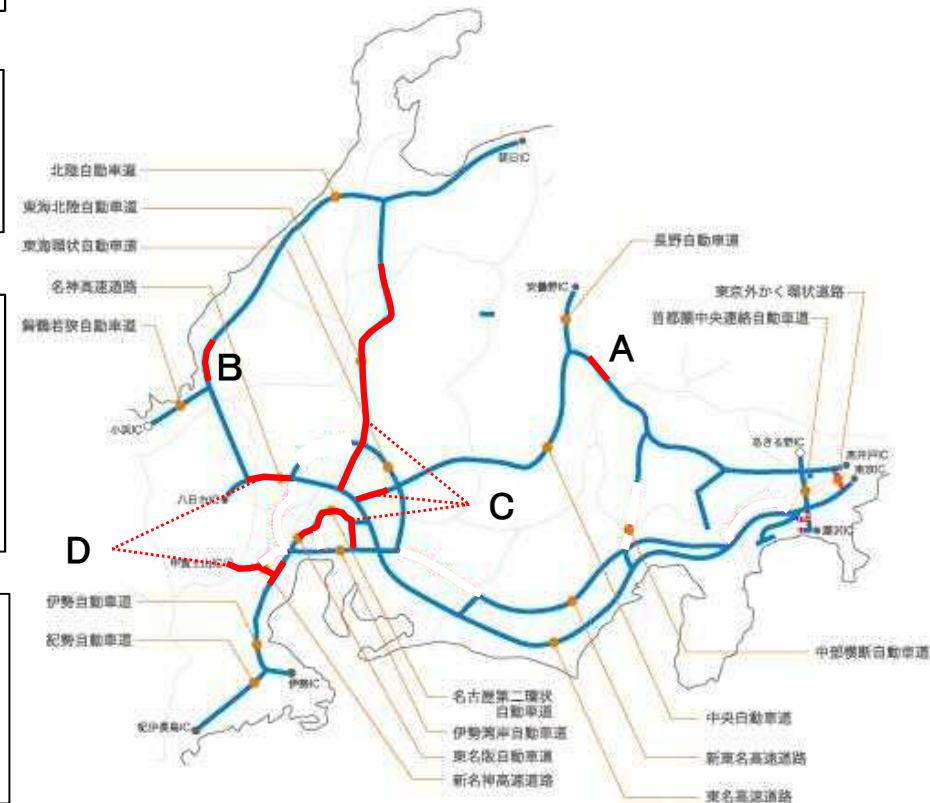
2014年度雪氷期(初冬期)において、下記のとおり雪による通行止めが発生

A:H26.12月4日(木)6:45~11:00(延4:15)
区間:中央道 諏訪南~諏訪(上下)

B:H26.12月6日(土)14:40~翌0:15(延9:35)
区間:北陸道 武生~敦賀(上り)
北陸道 敦賀~今庄(下り)

C:H26.12月17日(水)7:30~21日(日)16:10
区間:東海北陸道 一宮JCT~白川郷(上下)(最長95:30)
名二環 名古屋南JCT~名古屋西(内外)(最長39:30)
東名阪 名古屋西~桑名東(上下)(最長36:50)
中央道 多治見~小牧JCT(上下)(最長15:00)

D:H27.1月1日(木)19:40~翌17:00
区間:新名神 亀山~甲賀土山(上下)(21:20)
東名阪 四日市~亀山(下り)(15:15)
名神 米原JCT~養老JCT(下り)(8:50)



2015年1月28日

【9時00分現在】

中日本高速道路株式会社 八王子支社

1月29日～30日に関東・甲信地方の中央道・長野道で降雪が予想されています。

～冬用タイヤの装着とタイヤチェーンの携行をお願いします～

1月29日から30日に関東・甲信地方の中央道・長野道沿線では降雪が予想されています。

高速道路をご利用されるお客さまには、渋滞予測情報や道路交通情報を提供しておりますので、ご利用前にご活用いただくとともに、今後の気象予測をチェックし、冬用タイヤの装着とタイヤチェーンの携行をお願いします。

今後の交通への影響

当社では、降雪予測に基づき、高速道路での交通規制の見込みなど、交通への影響が想定される場合には、公式Webサイトなどで情報を提供します。降雪区間では、安全確保のため、速度規制やチェーン規制が行われることが想定されるとともに、降雪量が増えた場合は、通行止めの可能性もあります。

【関連情報】

- ・雪道を走る前に知っておきたい情報はこちらから **冬の雪道ドライブガイド**

<http://www.c-nexco.co.jp/special/snow/>

- ・リアルタイムの路面状況・交通状況や気象予測はこちらから **アイハイウェイ中日本**

<http://c-ihighway.jp/web/>

お問い合わせ先 (マスコミ専用)	中日本高速道路株式会社 [東京(中央道)・山梨・長野(中央道 伊北以东)地区のお問合せ先] 八王子支社 広報・CSチーム TEL 042-691-1172[直通]
お問い合わせ先 (お客さま窓口)	NEXCO中日本お客さまセンター (24時間365日対応) TEL 0120-922-229 [フリーダイヤル]

2014年度雪氷期に向けた取り組み —大雪予測時の事前情報提供による出控えや冬用タイヤ装着のお願い—

中日本高速道路株式会社は、今年2月の大雪において、東名高速道路や中央自動車道の通行止めが長時間化し、お客さまにご迷惑をおかけしたことから、この冬から早いタイミングでの雪に関する情報提供に努めてまいります。

合わせて、雪による通行止め回避および通行止め時の早期解除を図る取り組みの強化、高速道路と一般道路が一体となった通行確保に向けた関係機関との更なる連携強化など7つの取り組みを実施します。

お客さまには、冬の高速道路を安全にご利用いただくため、大雪が予想される場合には、不要、不急のお車のご利用をお控えいただくとともに、早めの冬用タイヤ装着にご協力をお願いします。

【取り組み内容】

今年2月の大雪による、東名高速道路と中央自動車道での長時間の通行止めを踏まえ、東名高速道路及び中央自動車道での対策を手始めに順次全社展開を図っていく。

1. 大雪前の情報提供の充実にに向けた取り組み

①気象予測を参考に降雪3日前程度から大雪に関する事前の情報提供を実施

2. 安全啓発の取り組み

②大雪予測が発表された際の出控えや冬用タイヤの装着について、公式WEBサイトやリーフレット等を活用した安全啓発を実施

3. 大雪でも高速道路の通行を極力確保するための取り組み

③除雪車両の増車（ロータリー除雪車7台追加配備）、広域応援派遣などによる除雪体制の強化

④立ち往生車両発生防止のため、気象状況および縦断勾配を考慮した除雪車両等の集中投入

⑤除雪作業の支障となる立ち往生車両を早期に発見し、直ちに移動するための監視設備の新規設置、GPSと携帯回線を活用した車両位置情報システムの全除雪車両への導入

4. 国・県・警察等関係機関との連携に向けた取り組み

⑥高速道路と一般道路が一体となった通行確保に向けて、緊急交通路確保連携および情報共有のための連絡体制の強化

5. 災害対策基本法改正を踏まえた対応

⑦改正された災害対策基本法に基づき、立ち往生車両や放置車両への対策を実施